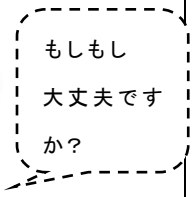
傷病者発見から心肺蘇生まで（G2020小児1歳から思春期以前（15歳程度）・乳児1歳未満 ）　NO. 1

<table>
<tr><td colspan="4">人が倒れている</td></tr>
<tr><td rowspan="4">発見・通報</td><td>1</td><td>安全を確認する</td><td>周囲の安全を確認する</td></tr>
<tr><td>2</td><td>発見時の対応手順</td><td>肩をやさしくたたきながら大声で呼びかけて、
何らかの応答や目的のある仕草がなければ
「反応なし」とみなす。

</td></tr>
<tr><td colspan="3">反応がない場合、判断に迷う場合、よくわからない場合、
「誰か　来てください！人が倒れています！」　大声で叫んで応援を呼ぶ</td></tr>
<tr><td>3</td><td>119番通報して
AEDを依頼
通信指令員の指示に従う</td><td>救助者が二人以上の場合
「あなた、119番通報をお願いします」
「あなた、AEDを持ってきて下さい」
※AED到着後の手順は裏面
救助者が一人の場合
周りに誰もいなければ、まず自分で119番通報し、
AEDが近くにあれば取りにいく。
（電話のスピーカー機能などを活用し、通信指令員の口頭指導を
受けながら胸骨圧迫を行う）

</td></tr>
<tr><td rowspan="6">心肺蘇生法</td><td>4</td><td>呼吸の確認と
心停止の判断</td><td>胸と腹部の動きを見て(普段通りの呼吸か)を 10 秒以内で確認する。
「死戦期呼吸」と呼ばれる、しゃくりあげるような
途切れ途切れの呼吸の場合、心停止と判断する。
「普段どおりの呼吸か」判断に迷う場合、または
分からない場合も胸骨圧迫を開始する。

死戦期呼吸
の動画</td></tr>
<tr><td colspan="3">呼吸なしまたは死戦期呼吸</td></tr>
<tr><td>5</td><td>胸骨圧迫を行う</td><td>胸骨圧迫（心臓マッサージ）を30回行う
＊胸の真ん中を強く（胸の厚さの約 1/3 まで）、
速く（100～120回／分）、
絶え間なく（中断は最小に）圧迫する
＊圧迫解除は胸が元の高さに戻るまで
＊1～2分ごとに役割を交代する
</td></tr>
<tr><td>6</td><td>人工呼吸を行う</td><td>2回息を吹き込む
＊胸が上がるのが見てわかる程度の量を1回約1秒
かけて吹き込む（頭部後屈顎先挙上法で行う）
＊人工呼吸ができないかためらいがある場合は、
胸骨圧迫だけを続ける。
</td></tr>
<tr><td>7</td><td>心肺蘇生の継続</td><td>人工呼吸の技術と意思があれば、胸骨圧迫30回＋人工呼吸2回の組み合わせを続ける。
人工呼吸を行わず胸骨圧迫だけを行っている場合は短い時間で疲れてくるので、
頻繁に交代して行う。</td></tr>
</table>

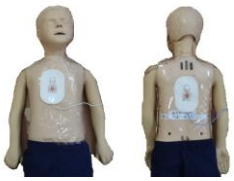
※[救急蘇生法の指針 2020 市民用より一部引用]

知多市消防本部

AED到着後から心肺蘇生まで

※ AEDを使用する時は、未就学児（小学校入学前）までは未就学児用パッド又は未就学児用モードを使用、未就学児用パッド等がない場合は、小学生～大人用パッド（成人用パッド）を使用する。（成人に対して未就学児用パッドを用いてはならない）

※ AEDは、電源を入れると音声メッセージが流れ、実施すべきことを指示してくれますので落ち着いてそれに従ってください。

<table>
<tr><td>1</td><td>AEDを傷病者の頭の近くに置く</td><td></td><td rowspan="4">胸骨圧迫（心臓マッサージ）を繰り返す</td><td rowspan="4">

</td></tr>
<tr><td>2</td><td>電源を入れる</td><td>ふたを開け、電源ボタンを押す
（ふたを開けると電源の入る機種もあります）</td></tr>
<tr><td>3</td><td>電極パッドを貼りつける</td><td>傷病者の胸から衣服を取り除く
電極パッドをイラストに従って肌に直接貼り付ける</td></tr>
<tr><td>4</td><td>ケーブルを接続する</td><td>ソケットに電極パッドのコネクタを接続する
（心電図の解析が始まる）</td></tr>
<tr><td>5</td><td>心電図の解析</td><td>「体から離れてください」
周囲の人に傷病者から離れるように伝える</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>6</td><td>充　　電</td><td>誰も触れていないことを確認する
電気ショックが必要である場合には、「ショックが必要です」などの音声メッセージとともに自動的に充電を開始する</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>7</td><td>除細動を行う</td><td>ショックボタンを押す
（誰も傷病者の体に触れていないことを確認）
「ショック」
（ショックボタンを押さなくても自動的に電気が流れる機種オートショック AED もある）</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>8</td><td colspan="3">ただちに胸骨圧迫を再開する</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>9</td><td colspan="3">AED 音声メッセージが「ショックは不要です。」の場合は、ただちに胸骨圧迫から心肺蘇生を再開する
2分おきに自動的に心電図解析を始めますので、心肺蘇生を中断する
この後は、AEDの音声メッセージに従う
＊電気ショックと心肺蘇生は救急隊に引き継ぐまで、または傷病者に呼吸や目的のある仕草が認められるまで繰り返す</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

＊救急隊へ伝達すること ⇒電気ショックを行った回数、胸骨圧迫（心臓マッサージ）を開始した時刻、電気ショックを行った時刻